



ハテマロ会のネパール大震災支援活動

「日本をきれいに in 上野」

2015年5月30日～2015年7月25日

場所：上野恩賜公園

報告書

ハテマロ会

हातेमालो समाज



HATEMALO SOCIETY

ハテマロ会理事会

会 長: Dr. Suraj Pradhan

副会長: Mr. Rajeeb Shrestha

事務局長: Mr. Bharat Maharjan

会 計: Mr. Deep Ratna Shakya

理 事: Mr. 高柳治信

理 事: Ms. 櫻井美佳

理 事: Mr. Rabin Shakya

理 事: Dr. Sawan Joshi

理 事: Dr. Kabir Shakya

監 事: Mr. Gautam Maharjan

監 事: Mr. Prachanda Mani Bajracharya

顧 問: 北角虎男先生

顧 問: 菊池貞介先生

顧 問: Mr. Sukuman Thing Tamang

「日本をきれいに in 上野」実行委員会

委員長: Mr. 高柳治信 委 員: Dr. Suraj Pradhan、Mr. Gautam Maharjan、Mr. Rajeeb Shrestha

指導助言: 伊藤敏明先生（東京情報大学教授）、菊池貞介先生（千葉県立八千代高等学校）

●問合先: 〒273-0022 東京都江東区南砂 2-3-7-720

TEL: 050-5899-8245 (ハル) URL: <http://www.hatemalo.org/> Email: haru206@nifty.com

日本をきれいに in 概要



この度、ネパールで発生しました大地震により壊滅状態になっている地域があります。我々ハテマロ会メンバーみなさんの実家は何らかの形でこの地震の影響を大いに受けております。ネパールにいたなら死んでいたかも知れないということを考えると、私たち日本にいたからこそ命が救われたと思わざるを得ません。現地で親戚や地元社会は大変に苦しい思いをしています。日々その凄まじさにより辛抱する力が衰退していつかのように感じ取れます。本来ならネパールに帰ってがれきの撤去や心のケアなど身をもって取り組まなければならないのですが、様々な理由で私たちが帰国するまでに至らなく、もどかしい気持ちを心に隠して涙を流しております。しかし、今回の凄まじさ、被害の拡大を考えると黙っていられなくなったのです。復旧に対してネパール政府の対応は遅いしひどいし期待はできません。その他に期待できるところもありません。各個人が全財産を使っても砂に水のごときなのです。みんなそれで無力感をもってもどかしい気持ちで居る状況です。このように、ネパールでの被害は遠く離れて日本に住んでいる私たちまでも波及してきているのです。

そこで、組織的に動いたら日本にいるからこそできることはきっとあるので、行動を起こそうとハテマロ会が立ち上がったのです。長期的な視野でネパール大震災復興支援活動を展開していこうと決めたのです。地元の復興のためにみんなでハテマロしてとりかかろうと動いたのです。地震大国日本から復興の手法を学んで応用できるように努力してまいります。

その一環として日本をきれいに in ○○を位置付けております。これを日本全国に拡大していきます。

●なぜ？日本をきれいに！プロジェクトか

日本人は心の優しい方々が多く、ただでさえもネパールに赴いて現地の貧しい方々のために一生懸命にお世話をしている方が多いです。それだけでも非常にありがたく、感謝をしていました。今回の地震の際は、いち早く支援の手を差し伸べてくれて、なおさら頭が下がりました。このような苦しい時期に手厚いご協力をしていただいた分今回直接に接する機会のあるネパール人は一生忘れないでしょう。本当に忘れません。ハテマロ会のメンバーも忘れません。なぜなら私たちハテマロ会メンバーも被害者です。私たちの親戚が大変にお世話になりましたからです。その感謝の気持ちをどこかで表したいとずっと感じていました。他方で、地元の復興のために資金調達も必要です。一石二鳥でできるのは「日本をきれいに！」だったのです。

清掃活動しながら募金活動を行います。被災地支援のために募金をお願い致しますが、頂いた善意の心に対して善意の社会奉仕でお礼を致します。日本をきれいに！発想を日本全国に広げて、ネパールの現状を知ってもらえる機会を作り、支援の輪を広げ、長期的に支援の目をネパールに向けてもらえるようにします。ネパール大震災を風化させないためにもこのプロジェクトが必要です。皆さん、このプロジェクトにご賛同いただき、中長期的な被災地復興のためにご協力の程よろしくお願い申し上げます。

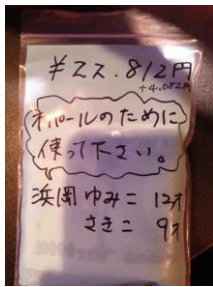
プログラム詳細

2015年5月30日（土）から2015年7月25日（土）まで7月11日（土）を除く毎週土曜日10：00～16：00まで上野公園にて清掃をしながら街頭募金活動をしてまいりました。その様子を以下ご報告致します。

第1回目：2015年5月30日（土）







合計金額は 147,961 円、その、小袋にあった 26,912 円は特別なものでした。ゆみこちゃん 12 才とさきこちゃん 9 才が貯金箱を割ってネパール大震災被災者のために寄付してくれたのです。責任感重大です。幼い子供達の大人以上の心に頭を下げます。本当にありがとうございます。

第 2 回目 : 2015 年 6 月 6 日 (土)

合計金額 96,832 円集まりました。



第 3 回目 : 2015 年 6 月 13 日 (土)

合計金額 54,476 円集まりました。





2015年6月18日（火）ハテマロ会の「日本をきれいに in 上野」活動は読売新聞全国版に載りました。



第4回目：2015年6月20日（土）

合計金額 55,383 円集まりました。



第5回目：2015年6月27日（土）

合計金額 59,504 円集まりました。





2015年6月30日（火）「日本をきれいに in 上野」は読売新聞英字版に載りました。

In the News

Nepalese cleans Ueno Park in Katmandu quake relief drive

By Hiroyoshi Horii
Yomiuri Research Institute
Senior Research Fellow

Suraj Pradhan

"It's the least I could do in return for the aid that's been given," explained Suraj Pradhan, who has been voluntarily picking up trash at Tokyo's Ueno Park every Saturday since May 30, about one month after a huge quake struck his home country. During the cleanup sessions, he also collects donations with his friends.

Pradhan, 43, came to Japan in 1997. He studied at Gunma University and Chiba University, eventually obtaining a doctoral degree in architecture. While working at an architectural firm, Pradhan has devoted himself to promoting the culture of Nepal through music and cuisine as the head of Hatemaro-kai, a group of young Nepalese residents.

The families of the group members were all safe. However, the disaster

claimed nearly 9,000 lives in Nepal and neighboring countries. The old streets and the World Heritage site in Katmandu Valley — whose protection Pradhan had been advocating as an architect — were severely damaged. Although tourism is a major industry for Nepal, there is no telling when the nation will see a recovery.

"Emergency aid — such as provisions of food, medicine and other items — is still needed," said Pradhan. "But medium- to long-term support is also essential to restore the townscape."

The group's Nepalese name, Hatemaro, means a "circle of people holding hands." In addition to the cleanup activity, Pradhan's fundraising screenings of Nepalese movies, which have taken place twice so far, have also drawn a sizable audience. The circle appears to be growing. "What matters is what we do next," he said.

"It's the least I could do in return for the aid"

The Yomiuri Shimbun

第6回目：2015年7月11日（土）

合計金額 41,586 円集まりました。





第7回目：2015年7月18日（土）

合計金額 29,757 円集まりました。



第8回(最終)目：2015年7月25日（土）

合計金額 34,362 円集まりました。





ネパール大震災が発生しましてちょうど3か月経つ2015年7月25日15:11に犠牲になられて方々のご冥福を祈りみんなで1分間黙祷をささげました。

ハテマロ会が打ち出したこの2か月にもわたる長いプロジェクト「日本をきれいに in 上野」これで無事に終了しました。この間たくさんの方々から善意のところでボランティアをしていただき心より感謝申し上げます。日本人のこの暖かい「恩」はかなり重く感じております。恩返しできるようにこれからも頑張っまいります。またこの「恩」は自分の中でとじ込むことも難しいです。ハテマロ会員一同、今後も他の誰かの役に立てるように恩送りしてまいります。ネパールの大震災の大復興が完了するまでハテマロ会の「日本をきれいに in〇〇」プロジェクトが続けます。どうぞ末永くご協力ご支援いただきますようお願い申し上げます。

ハテマロ会員一同

日本をきれいに in 上野の募金額合計：¥517,863

日本をきれいに in 上野における出費： ¥55,037

日本をきれいに in 上野プロジェクトから得た復興募金額：¥462,826

この善意は必ず被災者の届けることをお約束いたします。

P.S. ボランティアに感謝の意を込めて10月3日（土）にサメバジ BBQ を実施致します。日程調整をお願い致します。

報告者：ラジブ・シュレスタ

作成日：2015年8月4日（火）

ハテマロ会の紹介

ハテマロ会は 2006 年 4 月 14 日に設立された民間団体である。本会の名称そのものはネパール語源の言葉であり、「ハート」は手のことで、「マラ」は輪を指し、したがって和訳すると“手をつないだ輪”という意味になる。ネパールは多民族国家でヒンドゥー教に基づくカースト制度が根強く、貧富の差が激しい国である。それは上下関係を構成する主要要素となり、自由に手をつなぐことはむしろ不可能とする構造が作られてきている。それを正して民族・カースト・地域を越えて横断的なヨコ社会の可能性を探るべく名称からこだわったのである。

千葉県を中心にネパール関連の国際交流活動を展開し、日本、ネパール、そして海外の人たちも含め、より多くの方々のご理解とご協力を得て、“ハテマロ”を広げて歩むことを目標としている。

●ハテマロ会の目的：

- ①在日ネパール人及び日本人を含む海外の方々の間に文化交流を通じて異文化理解を深める。
- ②安定的に日本の社会に共生できる環境を構築し、多民族・多文化共生社会の実現のために努力する。
- ③在日ネパール人の豊かな社会基盤及び日本においてネパール人および日本人とのネットワークを構築する。
- ④ネパール・日本間草の根レベルの市民の交流・協力関係を推進する事業を行う。
- ⑤個人的な経験や技能や研究を発揮する場を提供し、それを利用してネパールの社会経済的な発展に寄与する。

上記の目標を実現するために定期的に各種のイベントを企画・開催し、異文化交流を実施している。

●ハテマロ会の存在意義：

今日、日本においてネパール人の団体が 200 を越えると言われる。その多くは諸民族集団や出身地共有集団であり、他は学生の団体や政治団体やビジネス関係の団体など主に特定の分野に特化している。これらの団体にはそれぞれの資格が有とし、また、団体によっては会費や活動参加費が高く、活動自体がネパール人に向いていないのでネパール人が参加できない状況である。

ハテマロ会ができた頃はネパール関連の団体は少なかったが、上記の問題意識は皆が持っており、国籍や民族やカーストを問わず、究極安い会費や活動参加費で、ネパールの社会文化を日本で再現し、家庭的な環境で誰しもが簡単に参画できる団体が必要とされていた。そういう問題意識の下でできたハテマロ会だったので、多くの方々の賛同が得られて 9 年間も地道に活動を継続してきて現在に至っている。

●ハテマロ会の主な活動：

ハテマロ会の組織運営そのものは日本人を含めて 120 人以上の会員に支えられており、活動に協力してくれる方々は 200 人に上る。ハテマロ会は毎月文化交流を目的で大小の活動を実施しており、その中でも主に力を入れているのは以下の活動である。



ハテマロデー (4月)



サメバジパーティ (9月)



フェスティバル (2月)

●Gallery

World Heritage in Nepal organized by Ichikawa Unesco



Hatemalo Festival on Nov. 18, 2006



In Celebration of the Golden Jubilee of Nepal Japan Diplomatic Relations by NAJ, Hatemalo Society, NIFJ

